

# しちがはま

## 議会だより

No. 128

平成28年7月15日  
宮城県七ヶ浜町議会



勝利をめざして  
よーいドン!

**特集** はまぎく児童保育館が新しく 2

雨水排水計画について町の考えは など 5人が質問 8

おらほのサークル紹介シリーズ ー第9回ー 15



# はまぎく児童保育館 新しく!!

6月  
定例会

## 待ち遠しいな

雨の一日が過ぎ、帰ろうとした  
うめだしゅうせい  
梅田修靖君（3年生）と迎えに  
来たお母さんの敬子さん（遠山）  
にインタビューしました。

- Q 新しい児童保育館にどんなことを期待しますか。
- A (修靖くん) 外が良く見える大きな明るい窓が欲しいし外は芝生の広い庭を造ってください。  
(お母さん) 低・高学年が一緒に囲むちょっと変形した大きな丸いテーブルがあれば楽しいのではないのでしょうか。
- Q 今の児童保育館で不便なことは。
- A (お母さん) 1部屋なので、勉強と遊びが分割できなかったことです。  
新しい児童保育館は2部屋となり、戸で仕切られるので安心です。
- Q 新しい児童保育館で何をしたいですか。
- A (修靖くん) 大きな部屋を使ってイベントをしたり、芝生の広場で流しソーメンやお祭りをしたいです。



みんなで仲良く勉強



工事概要	
建築場所	七ヶ浜町汐見台三丁目1-3
敷地面積	783.91㎡
建築面積	206.99㎡ 木造/平屋造り
工事金額	約6,000万円 シンガポール赤十字社からの寄付約4,600万円を充当
工事範囲	西側倉庫等建物の解体を含む

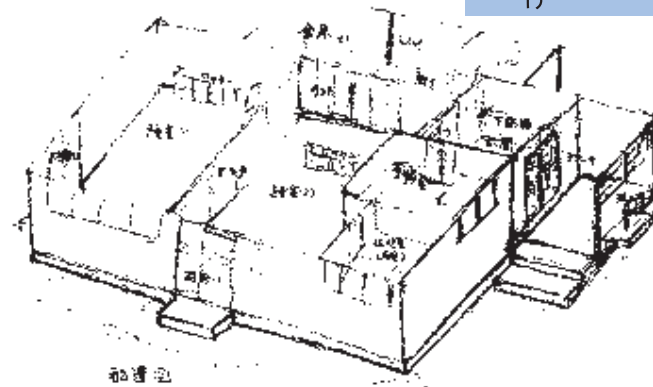
平成29年					平成28年							年
5	4	3	2	1	12	11	10	9	8	7	月	
旧館解体別途工事	開館		完成	内装工事			建築工事			西側建物解体	工事内容	

老朽化が進み、手狭になった第1児童保育館（はまぎく児童保育館）の改築工事が始まります。現在の場所から西側に100mほど離れた建物跡に新築となり、6年生までの入館を考慮して、定員も60人から80人になります。

遠山保育所に続き、一部シンガポール赤十字社からの資金援助を受けた事業となります。早い完成を期待します。

## 来年2月末に完成の予定

6月定例会を6月8日から9日までの会期で開催しました。町税条例の一部改正や「はまぎく児童保育館」の工事契約、小中学校校務用パソコンの購入、28年度補正予算など22件の議案等を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。また、一般質問は5人が活発な議論を展開しました。



イメージ

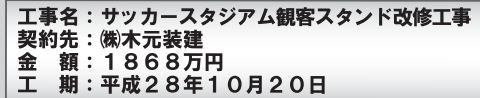
## 工 事 契 約



工事名：都市公園（菖蒲田漁港緑地）整備工事  
 契約先：丸勤建設(株)  
 金額：1億3381万円  
 工期：平成29年3月24日



工事名：菖蒲田海水浴場パトロールセンター建設工事  
 契約先：浜田工業(株)  
 金額：5270万円  
 工期：平成29年1月31日



工事名：サッカースタジアム観客スタンド改修工事  
 契約先：(株)木元装建  
 金額：1868万円  
 工期：平成28年10月20日



工事名：土地区画整理事業（代々崎浜A地区）  
 契約先：(株)大政産業  
 金額：1億3641万円（1371万円の減額）  
 理由：舗装工事の一部減工事のため



工事名：吉田浜地区広場整備工事  
 契約先：中鉢建設(株)  
 金額：7311万円（313万円の増額）  
 理由：碎石舗装からアスファルト舗装に変更するため



## 財 産 の 取 得



事業名：小中学校校務用コンピュータ購入  
 金額：5940万円  
 契約先：富士通エフ・アイ・ピー(株)  
 納期限：平成28年9月30日

# 小中学校の先生へパソコン貸与 ～校務用コンピュータ購入契約承認～

教育委員会 6台、小学校 85台、中学校 61台 合計 152台  
 (納期は平成28年9月30日)

## 議案審議

### 財産の取得

### 条例改正

### 討 論

●小中学校の校務用コンピュータ購入

反対 歌川 渡  
 パソコン本体が高額であり、議会への事前説明がないため反対とする。

賛成 渡邊 淳

現在の入札制度による一般競争入札であり賛成とする。

採決の結果

賛成11 反対2  
 賛成多数で可決



●町税条例等の一部を改正する条例

内容  
 法人住民税法人割の税率を引き下げ、軽自動車税の環境性能割の創設及びグリーン化特例の見直しと延長等、地方税法等の改正に伴い、町税等の一部を改正するものです。

### 討 論

反対 歌川 渡  
 法人税割の税率引き下げのため反対する。

賛成 佐藤 衛

固定資産税に係る「わがまち特例」の追加改正であり賛成とする。

採決の結果

賛成11 反対2  
 賛成多数で可決

●国民健康保険条例の一部を改正する条例

内容  
 地方税法等改正に伴い、国民健康保険条例の一部を改正するものです。

### 討 論

反対 歌川 渡

健全な運営をするためには自己負担割合を元に戻し、国が負担するべきであり反対する。

賛成 渡邊 淳

今回の法改正は、社会経済状況に対応できるもので賛成とする。

採決の結果

賛成11 反対2  
 賛成多数で可決

●復興産業集積区域における固定資産税及び都市計画税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

内容  
 東日本大震災復興特別区域法に定める省令の改正に伴い、1年間延長する等の町関係条例の一部を改正するものです。

### 討 論

採決の結果  
 反対なく全会一致で可決

●都市計画税条例の一部を改正する条例

内容  
 地方税法等の改正に伴い、都市計画税条例の一部を改正するものです。

採決の結果  
 反対なく全会一致で可決

●東日本大震災の被災者に対する固定資産税及び都市計画税の減免に関する条例の一部を改正する条例

内容  
 地方税法附則による津波浸水区域の課税免除に伴い、平成28年度も延長する等の町関係条例の一部を改正するものです。

### 討 論

採決の結果  
 反対なく全会一致で可決

●東日本大震災における原子力発電所の事故による災害被害者に対する国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例

内容  
 災害被害者に対する町関係条例の一部を改正するものです。

採決の結果  
 反対なく全会一致で可決



# 補正予算

## 吉田花洲港の水産業共同利用施設の補助等が決定！

平成28年度一般会計補正予算（第1号）は、歳入歳出それぞれ8628万円を追加して、歳入歳出の総額を102億2928万円としました。補正の主なものは、吉田花洲港の水産業共同利用施設の補助や熊本地震の見舞金、小中学校エアコン設置工事等の増額によるものです。歳入歳出それぞれ審議し原案のとおり可決しました。

**問** 花洲港のトイレ設置工事の場所と概要は、産業係長 場所は、うみの駅「七のや」の北隣を予定している。概要は、約25㎡で6基から8基を予定している。

**答** 被災施設復旧整備事業 (3353万円)

**問** 国際交流協会の補助金の追加理由は、国際村事務局長 プリマス訪問団は当初6人であったが、七ヶ浜国際交流協会等にも関わってもらい8人としたためである。(通訳含む)

**問** 水産業共同利用施設の補助の団体数は、産業係長 団体ではない。今回の補助は吉田花洲港の魚市場と刺し網漁業者が使用する作業場等への補助である。

**問** 吉田花洲港水産業共同利用施設補助 (2085万円)



**問** 交流イベントの事業内容は、政策課長 心の復興事業として行うもので、内容は被災者（災害公営住宅、高台団地入居者）を中心に、新たなコミュニケーションづくりのため、地域を超えての交流を進める事業である。

**答** 被災地域交流イベント心の復興事業 (151万円)



吉田花洲港の魚市場

**問** 今回の松くい虫の伐倒木搬出処理は、倒木搬出処理に東沢田と国際村は含まれていないのか。

**答** 産業係長 今回は汐見台地区と吉田浜野山地区であり、民家や通学路などの安全に配慮し決めた。

松くい虫の伐倒木搬出処理 (150万円)

### 平成28年度 一般会計補正予算 おもな内容

一般会計		補正額
歳入	東日本大震災復興交付金基金繰入金	3891万円
	震災復興特別交付税	3058万円
	国庫支出金	579万円
	グローバル人材育成基金繰入金	500万円
歳出	震災復興推進事業費	4880万円
	吉田花洲港水産業共同利用施設補助	2085万円
	町内小中学校エアコン設置工事等	240万円
	マイナンバー関連システム改修等	431万円
	平成28年熊本地震見舞金	60万円

### 6月定例会 提出議案採決結果一覧 (6/8~6/9)



6月定例会では、条例改正、平成28年度各種会計補正予算等の議案22件、及び閉会中の継続調査申出書（総務・教育常任委員会、産業建設・厚生常任委員会）の審議をしました。

賛否が分かれた案件を採決一覧表に、全会一致の案件は名称のみ掲載しました。なお、議案名は略して記載しています。

#### ●賛否が分かれた議案

議案名	掲載ページ	賛成	反対	議決結果	仁田 秀和	木村 稔	熊谷 明美	佐藤 壮一	安倍 敏彦	佐藤 衛	渡邊 淳	遠藤 久和	鈴木 初雄	我妻 周悦	佐藤 梶信	歌川 渡	岡崎 正憲	大町 睦夫	
町税条例等の一部改正	4	11	2	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険税の一部改正	4	11	2	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小中学校校務用コンピュータ購入	4	11	2	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対 議長（大町睦夫）は採決に加わらない。

#### ●全会一致の議案等

条例改正	掲載ページ
○都市計画条例	4
○復興産業集積区域への固定資産税及び都市計画税の免除条例	4
○被災者への固定資産税及び都市計画税の減免条例	4
○原子力発電所事故による被害者への減免条例	4

契約関係ほか	掲載ページ
○工事請負契約「都市公園（菖蒲田漁港緑地）整備工事」	5
○工事請負契約「はまぎく児童保育館改修工事」	5
○工事請負契約「サッカースタジアム観客スタンド改修工事」	5
○工事請負契約「菖蒲田海水浴場パトロールセンター建設工事」	5
○工事請負変更契約「土地区画整理事業（代ヶ崎浜A地区）」	5
○工事請負変更契約「吉田浜地区広場整備工事」	5



**訂正**  
議会はよりNo.127の記事の中で、お名前に誤りがありましたので訂正しお詫ひ申し上げます。  
議案審議（P11）  
選挙管理委員  
委員  
誤 星 七代氏（漢浜）  
正 星 七代氏（漢浜）

補正予算	掲載ページ
○平成27年度一般会計補正予算（第6号）	—
○平成28年度一般会計補正予算（第1号）	7
○平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	—
○平成28年度介護保険特別会計補正予算（第1号）	—



わたなべ 渡 津 かつし

# 雨水排水計画は

## 町長 復興事業の進捗状況を見極めて計画を検討する

**問** 復興事業の状況は着々と進行している。陸域の地形改変もめどが立ち、完成も間近になってきた。以前より問題視されていた雨水排水処理計画策定の町の基本的な考えは、本町は平成25年に治水方針を策定している。

**答** 現状と課題は海岸部の地盤高が低い地区での高潮や満潮時と激しい降雨が重なった際、自然流下ができず既設排水路から雨水があふれることである。これらの問題を解決するには雨水排水計画を策定し、具体的対応が必要と考えている。復興事業の進捗状況を見極めながら雨水排水計画を検討していく。

**問** 本町の地形特性から自然流下範囲と強制排水範囲と2系統に分けるべきである。更に強制排水の施設を軽減する計画が必要ではないか。

**答** 強制排水するポンプ場の建設やその維持管理費は莫大なものになる。できるだけ自然に流れるように考え、強制排水範囲を狭める計画は必要と思われる。範囲の設定には雨水排水計画を策定する際の大きな検討事項と考えている。

**問** 自然流下機能をもたない整備が必要と思うような整備が考えを進めるのか。

**答** 雨水の滞留箇所は把握している。将来の維持管理を考えると自然流下を基本に考えていく。特に要害や東宮浜、代ヶ崎浜など高潮と大雨が重なった場合が課題で、被害が大きく懸念される所である。できるだけ強制排水は小さく自然流下を基本に考えていく。



要害の仮設ポンプ

**問** 集中豪雨など現在の施設で排水できない場合を想定し内水ハザードマップ作成の基本方針を検討する考えはないか。

**答** 内水ハザードマップは被害の情報を住民にわかりやすく提供し内水による浸水被害を最小化するものである。

過去の浸水実績を考慮すると、本町はハザードマップをつくる義務はないが、住民の安心安全を守る上で必要と考えている。復興状況の関連を見ながら広範囲にハザードマップをつくるべきか局所的につくるべきか検討していく。

**問** 想定以上の雨の場合を考えて調整池機能を農地などで利用できるようにあらかじめ協定等の準備は考えられないか。

**答** 水田の雨水調整機能は必要だと思う。今は要害や東宮浜の排水処理機能を注視していく必要がある。



# 町政を問う

## 一般質問一覧表

6月定例会の一般質問は、8日と9日の2日間行い、5人が活発な議論を展開しました。内容は質問者の原稿を原文に近い形で9ページから13ページに掲載しています。なお、タイトルは通告のとおりです。

### 渡 津 ..... 9ページ

- 雨水排水計画について町の考えは

### 熊谷 明美 ..... 10ページ

- 老朽化に伴う水道管の交換・整備について

### 歌 川 渡 ..... 11ページ

- 遠山保育所の改修について
- 全被災者を始め、希望する町民に、災害公営住宅の入居改善を図れ
- 臨港道路湊浜線の整備に伴う、湊浜地区の道路環境について

### 仁田 秀和 ..... 12ページ

- セヶ浜町消防分団第4分団消防ポンプ自動車置場の高台移転について

### 木 村 稔 ..... 13ページ

- 町内の郵便ポスト増設について
- 汐見小学校校庭の雨水対策について

※傍聴される方には、一般質問の要旨が記載されている資料を配布しています。

# 遠山保育所の早期改修を図れ

**町長** 現在調査計画中で  
職員等の意見を聞く場を設けたい



うたがわ わたる  
歌川 渡



おりの扉ですか

**問** 開所して3年、2度にわたり改修を求めた。今年度「改修調査設計業務委託」が計上された。3点の調査の進行状況を伺う。  
①廊下の暴風雨対策は設計・建築業者と改善協議しているが、内容は。  
②鉄格子の門扉の改修はするのか。

**答** 町長 3点とも、何らかの対策は必要と考えている。調査設計が終わっていないので、回答できる段階ではない。現地調査の際、保護者や職員等の意見を聞く場を設けたい。

**問** 臨港道路湊浜線の整備に伴う、砂山交差点から松ヶ浜入口交差点までの交通渋滞や事故等が予想されるため、次の点を伺う。  
①臨港道路湊浜線整備理由。  
②周辺住民への周知は。  
③主な通行車両と一日の通行車両数は。

**答** 町長 ①仙台港の拡張確保。  
②周知していない。  
③港湾従事者車両10数台、④想定していない。  
④交通渋滞や事故等の発生の心配は。  
⑤砂山交差点から松ヶ浜入口交差点を避ける新道路整備はするのか。

**町長** 通行車両は限定的で交通渋滞等は想定していない

## 臨港道路湊浜線整備に伴う道路環境は

## 全被災者・希望する町民の災害公営住宅への入居改善を図れ

**町長** 被災者以外の入居募集は12月頃を予定

**問** 災害公営住宅に空き戸が生じており、被災されても入居できない方や一般町民も入居できるように、改善を求めるにあたり、次の点を伺う。  
①各災害公営住宅の空き戸数等は。  
②入居できない理由は。

**答** 町長 ①松ヶ浜住宅Ⅱ5戸、葛浦田浜住宅Ⅱ14戸、花洲浜住宅Ⅱ6戸、吉田浜住宅Ⅱ0戸、代ヶ崎浜住宅Ⅱ1戸。  
②被災し住宅が滅失した方で、自己による住宅再建が困難等の条件を満たさない方。  
③町内被災者の最終確認や県内の全被災者への募集後、一般公営住宅に切り替えてから。  
④12月頃以降を予定。



くまがい あけみ  
熊谷 明美

## 老朽化に伴う水道管の交換整備をせよ

**町長** 今後の事業量等を見極め計画的に実施する

**問** 私たちは日常、水道のある生活が当たり前と思っているが、世界中で日本のように綺麗で安全な水が飲めるのは非常に貴重である。最近、水道管の老朽化に伴う管路事故が全国で約2.5万件発生している。本町における法定耐用年数が過ぎている水道管はどの程度あるのか。また、老朽化が進み、対策を必要とする水道管はどの程度あるのか。



**答** 町長 本町の水道管は全体で130kmである。その内40年以上のものは7.5kmで全体の6%である。早急に対策が必要とするものは、平成28年度上水道老朽管調査設計業務委託事業として一部の老朽管調査を行い、その結果で今後の対策に生かしていく。  
**問** 1970年代以前に敷設された水道管は耐震性も低く、次に大きな地震が発生したり、問題が起きてからでは手遅れである。計画的に老朽化した水道管を交換する考えはないか。  
**答** 町長 本町は大震災の復旧工事を最優先にしている。水道管は不測の事態に備えて配水管を接続するループ化工事を実施してきた。また、老朽管の更新を進めるためアセットマネジメント(資産管理計画)や経営戦略等を策定し、今後の事業量と事業を見定め計画的に老朽管の更新をしていく。

**問** 住民の中から「水道水が濁っている」「細かい砂や錆のような物が沈んでいる」等の声を聞くがどうか。  
**答** 町長 水道事業所長 必ずしも漏水が有るから濁るのではなく、配水管工事等の関係で濁り水が出る場合がある。付近住民には十分説明してきたが、今後もしっていく。



老朽化した水道管の交換は必要

**問** 人にとって大切な水の現状をより詳しく知り対処するために、住民から聞き取り調査をする考えはないか。  
**答** 町長 砂や錆は家庭の経過年数もあり、本管ではなく宅地内での配管内部の錆等が出る場合がある。平成27年に住民満足度調査を実施した中に、水道に関する設問を2問設定した。その結果水道水に対し高い満足度があることが出た。また、水道管の破砕事故や道路の陥没事故なども起きていないことから聞き取り調査をする考えはない。  
**問** 国では16年ぶりに交付金が増額された。交付金を活用する考えはないか。今後の整備に対する財源確保をどう考えているか。  
**答** 町長 事業活動から生じる剰余金を充てて更新を進める。





木村 稔

# 町内の郵便ポスト増設を

## 町長 区の要望を後押ししていきたい

**問** 震災で一部の郵便ポストがなくなった。現在あるポストで十分だと考えているのか。

**答** 町長の管理は塩釜郵便局が行っているため、直接確認をした。震災により使用できなくなったポストは、7カ所であり、代々崎浜地区の1カ所は平成25年9月に再設置したとのことであった。設置には何点かの基準があり、総合的に判断検討することである。町としても、被害を受けた7カ所の内、1カ所が再設置されたとのことなのでその他の6カ所も、現在の進捗状況に応じて、従前のように町民が利用しやすい郵便ポストを設置してほしいと考えている。



**問** 震災後、新設された各公営住宅や高台団地、郵便ポストの空白地域である遠山1丁目、2丁目、汐見台南2丁目、花洲浜地区に設置を求めている考えはないか。

**答** 現在、花洲浜と萱浦田浜の区長より、地区の災害公営住宅にポストを設置して欲しいとの要望が出されていた。郵便局では、各地区からの要望の内容と郵便ポストの設置条件を照らし合わせた上で総合的に検討することである。区長が中心となり新たな設置や増設の要望をして頂き町でもそれを後押しする形で郵便局にお願いしていきたい。

**問** 特に、裏門および体育館東側の水溜り対策はどのように考えているのか。

**答** 校舎と体育館をつなぐアスファルト通路部分に水溜りが出来やすくなっているが、泥でぬかるむことはなく、学校教育活動や安全面に支障がないと考えている。現時点では、雨水対策の改善は考えていない。



汐見小校庭の水たまり

### 教育長

現時点では支障がない

## 汐見小校庭の雨水対策は

**問** 雨水による水溜りが数カ所生じているようだが学校管理者は把握しているのか。

**答** 教育長 雨が降るとびに確認はしていないが、水溜りが出来やすい箇所の大まかな把握はしている。



仁田 秀和

## 代々崎浜消防ポンプ自動車置場を高台移転せよ

### 町長

町内すべての年次計画を検討し総合的に考えたい

**問** 代々崎浜消防ポンプ自動車置場は、震災直後から地区住民や消防団幹部より高台移転の要望があるが。

**答** 町長 当初、消防団の幹部会で現在の位置が望ましいと決まった。今後は町内全ての消防ポンプ自動車置場の建て替え時期の年次計画の検討が必要であると検討している。その際には建設場所も検討し、再建するのかが移転が必要なのか、財政面も含めて総合的に検討したい。

今年度の調査費などの考えはないか。

**答** 消防団員で被災された方も多く、現在は地区住民と共に避難するといったような流れに変わっている。津波被害だけではなく、消火活動や国民保護法、災害救助法との絡みも含めて、単純に消防団だけの話ではなく地区住民の意見を聞きながら状況を踏まえて今後検討したい。



**問** 自主防災会としての機能を確保するべきではないか。

**答** 総務課長 地震災害復興計画書によると代々崎浜西地区は、津波で浸水しない対策ができています。自主防災会はこの計画書を活動の展開に生かすべきだと思います。

**問** 防潮堤ができるから大丈夫というのでは疑問が残る。被災した事実やイエローゾーンに指定していることはどう考えるのか。

**答** あくまで一つの資料としてシミュレーションを生かすというようなことは変わらない。防災や運営など機能できるように総合的に判断するというのが根本にある。住民の方などと相談して検討するというのが進め方と想っている。



高台移転が望まれる

# 元気にはばたく わが町のサークル



楽しく、仲良く練習しています

**A Q** 設立時期と名称の由来は、平成5年10月にダンスと共に、カラオケも始めました。しかし現在はカラオケだけではなく、楽しく頑張っております。

- A Q** メンバー構成は、14人です。
- A Q** 活動状況は、毎月2回、第2・第4火曜日に中央公民館で行っています。
- A Q** 発表の場所は、文化協会主催の文化祭と生涯学習フェスティバルです。
- A Q** 今後の目標は、楽しく、仲良く練習していきます。

**カラオケサークル スイミング**  
代表 山内美代子さん（遠山）  
やまうちみよこ

## 〔文化協会〕



**すずのき会**  
おさだ  
代表 長田ふよさん（境山）



楽しく和気あいあいと踊っています

- A Q** 設立時期と名称の由来は、昭和50年に先生の名前をお借りして「すずのき会」としました。
- A Q** メンバー構成は、4人です。
- A Q** 活動状況は、毎月1回です。年2回境山地区の老人会で踊っています。また町外ではありますが、デイサービスなどで慰問活動も行っています。
- A Q** 発表の場所は、文化協会主催の文化祭で踊っております。
- A Q** 今後の目標は、健康のために、体の調子を見ながら、楽しく活動していくことです。



# 委員会レポート これも議会の仕事です

## 震災 特別委員会

### 復興状況と 産業施設を視察



アワビ水槽を視察

高台住宅団地や災害公営住宅が完成し、居住が開始された状況を把握するため3月23日に現地を訪問しました。住環境としての整備はされたものの日照の問題等課題もあることが検証されました。また、5月23日には松ケ浜漁港内にある県水産技術総合センター種苗生産施設と花刈浜の海苔加工施設を視察しました。

二枚貝やアワビの採苗飼育の状況、今後のヒラメ育成に向けた取り組み等をつぶさに観察することができ、議会としての今後の支援体制の重要性も認識しました。

海苔加工施設は、最新の設備として七ヶ浜産の海苔の将来性を見ることができました。販売促進等で今後の課題もあることを感じた視察でした。

## 社会教育・文化施設の 状況を調査

### 状況を調査



老朽化した屋根（武道館）

本町の長期計画の中で、グローバル人材育成プログラムや、恵まれた地域資源をいかした教育戦略が策定されています。具体的なテーマは、教育文化施設等の改善策を考察し、老朽化した文化・スポーツ施設の修繕改築を行政に促していきます。

今回は、社会教育施設および文化施設的环境整備状況を調査します。また、各施設のより良い改善と有効利用策を提言するとともに、施設管理計画との整合性も提言します。調査対象施設は次の通りです。

- ※建築物は、国際村やアクリーナ、中央公民館、武道館等を調査します。
- ※野外施設は、野球場やサッカースタジアム、テニスコート、アスレチック、キャンプ場等の運動施設とします。
- ※周辺自然環境の整備方針も調査します。

## 総務 教育

## 産業 厚生

### 施設介護の現状と 今後のあり方は



特別養護老人ホームでカバーしきれない方々などがグループホームや介護老人保健施設へと移ることが予想されます。本町にもグループホームの建設予定があり、在宅介護や老々介護の問題を見据え、今後の重要性が高まる施設として調査することになりました。



# クイズ？

＜3択から選んでね＞

問1 来年2月に新しく完成予定のはまぎく児童保  
育館の定員数は何人でしょうか。

- ①60人      ②70人      ③80人

問2 小中学校の先生へ貸与されるものはなに。

- ①スマートフォン    ②パソコン    ③電子辞書

問3 松くい虫の伐倒木搬出処理に補正予算がつき  
ました。対象地区は吉田浜野山と、もう1カ所  
はどこでしょうか。

- ①汐見台      ②東宮浜      ③湊浜

応募方法： はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢、  
議会へのご意見を書いてお送りください。  
(メール可)

正解者の中から抽選で3人の方に図書券を  
進呈します。

あて先：〒985-8577 七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1  
七ヶ浜町議会事務局 議会だより係  
Eメール gikai@shichigahama.com

締切り：平成28年8月14日 (当日消印有効)

前号の答え：問1 ① 問2 ② 問3 ③

当選者：渡邊 勝さん

## 議会を監視するのはみなさんです。

一次の定例会は9月開会予定ですー

詳しくは議会事務局まで TEL357-7435  
または、町ホームページ「町民便利帳」を  
ご覧ください。

<http://www.shichigahama.com>

発行責任者	議員	副委員長	委員長	議会広報編集特別委員会
大町 睦夫	安倍 敏彦	佐藤 壮一	熊谷 明美	木村 秀和
	佐藤 明	熊谷 明美	木村 秀和	仁田 秀和
				岡崎 正憲
				佐藤 衛
				熊谷 明美

これからますます暑い日が続くと思います。水分を十分に取り健康第一であの元気な子供たちのように、この熱い夏を乗り切りたいものです。

◆5月、小学校の運動会に行って来ました。目の前にはちよっと大きめの運動着を着て校長先生の話を一生懸命聞いている1年生。歯を食いしばり元氣いっぱい走る汐見っ子を見て、七ヶ浜の明るい未来を感じました。目に見える復旧復興は進んでいるようですが、心の復興は今後も大きな取り組みの一つです。

編集後記



## 表紙に寄せて

### 応援団も頑張りました

5月21日に行われた汐見小学校の運動会で白熱した応援合戦を繰り広げた紅組白組の応援団長にインタビューしました。



紅組団長  
すがわらふうま  
菅原楓真君

白組団長  
さいとうぜおん  
齋藤善音君

Q 伝統の応援合戦、団長になった時の思いは。

A 先輩の姿を見て「かっこいいな」と憧れていましたが、いざ自分たちが団長になって、みんなをまとめられるか不安もありました。

Q 団長になって一番喜んでくれたひとは。

A 菅原君：おばあちゃん。  
齋藤君：いとこ（小学校の時に団長をした）  
二人とも：家族みんなが喜んでくれた。

Q 団長という大役を果たしての感想は。

A 初めの頃はまとまらず悩みましたが、友達に励まされながら練習を重ね、みんなの気持ちが合ってきて、やりきった時は嬉しかった。

Q あれから自分で変わったなあと思うことは。

A みんなの前に積極的に出れるようになったし、発言もできるようになりました。

表紙

### 勝利をめざして、スタートする3人

わかまつゆい      ちばここみ      ささきりほ  
若松優衣さん、千葉心美さん、佐々木莉歩さん